

# 経営比較分析表

神奈川県 平塚市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.97	91.95	2,425

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
258,065	67.82	3,805.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,495	1.16	2,150.86

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

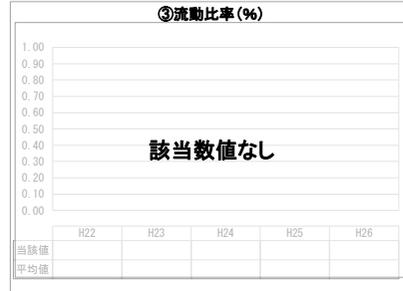
## 1. 経営の健全性・効率性



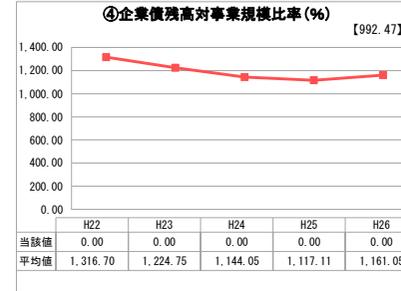
「単年度の収支」



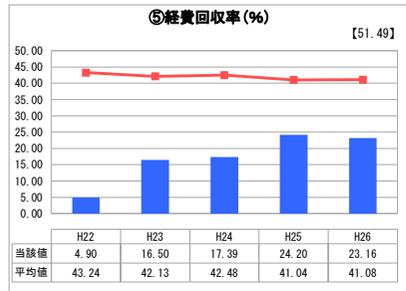
「累積欠損」



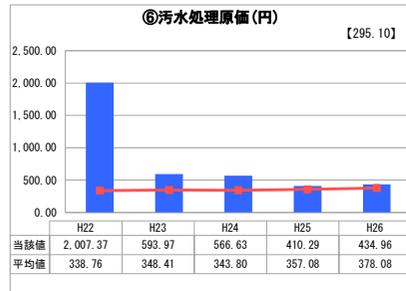
「支払能力」



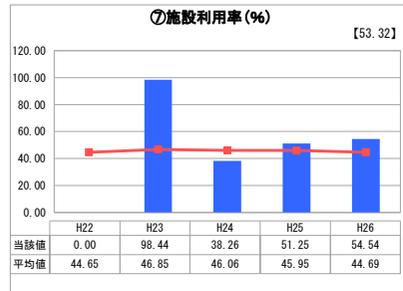
「債務残高」



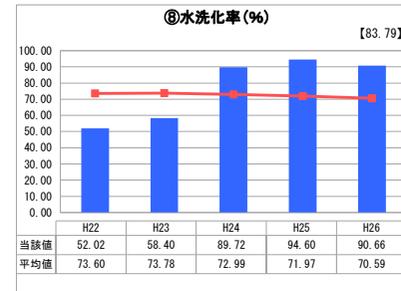
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

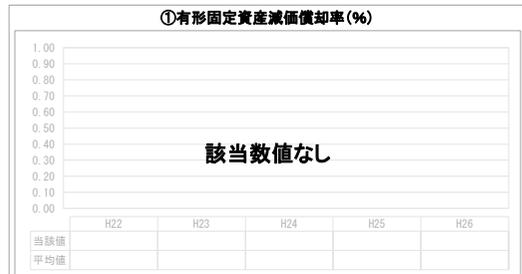


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

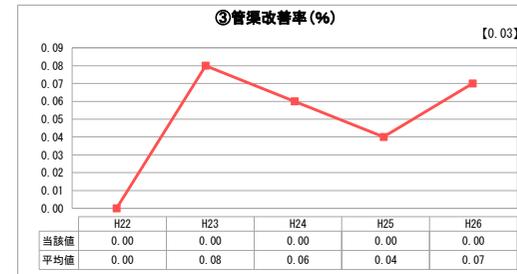
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が概ね100%の水準となっております。企業債残高対事業規模比率が0%であるのは、企業債残高について一般会計からの繰入金を財源として償還することを見込んでいることによります。経費回収率は類似団体や全国平均(平成26年度)より低い基準にあり、また汚水処理原価は類似団体や全国平均(平成26年度)よりも高い基準となっております。施設利用率及び水洗化率は管渠の整備、供用開始が進むにつれて上昇しており、類似団体や全国平均(平成26年度)よりも高い基準となっております。

しかしながら、一般会計からの繰入金に依存しているため、現時点の指標からは厳しい経営状況といえます。

平成27年度に計画地区の整備が完了するため、今後、水洗化率を向上させて使用料収入を確保するとともに、あわせて維持管理費の縮減を図り経費回収率の改善を図る必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

平成18年度から整備を開始したため、まだ管渠は新しいことから老朽化に関しては問題ありません。

### 全体総括

現時点の指標からは今後も厳しい経営状況が続くことが予想されます。そのため、水洗化率及び収納率の向上や経費回収率の改善を図る必要があります。

その点からも、経営状況や財政状態をより明確化するため、平成28年度から地方公営企業法の一部適用(財務規定等)を行い、経理を企業会計方式とすることで損益計算書や貸借対照表等から財務状況を分析し、経営の効率化を進めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
 ※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。